

## 1. はじめに

12月に入り、急激に気温が下がりより一層冬を感じる季節となった。朝は氷点下まで冷え込むことが多くなり、湖には霧が立ち込め、ときより凍る日も増えてきた。一方で、教室や建物内は比較的暖かく、それ故か、Tシャツや半そで姿の学生をよく見かける。親友に聞いたところ、理由として寮と教室の距離が近い、あまり服にこだわらないなどの意見があった。



Fig1. 霧が立ち込める Speed湖

## 2. 授業

### 2.1. BIO220: Microbiology

この授業は、週に2回の座学と1回のグループディスカッション、実験のクラスから構成されている。授業の内容としては、秋学期に履修した **Cell Function and Structure** をベースに、真核生物や原核生物の細胞構造や、代謝などを学んでいる。日々の授業でも話し合うことが多く、学んだ内容を学生同士で確認しあう時間が多く設けられている。またグループディスカッションでは、個人プロジェクトとして課題が課せられ、班内で情報を共有する。実験では、土壌サンプルから微生物を分離し、いくつかのコロニーから純粋培養する実験や、グラム陰性菌の染色を行った。また、安全性のある **ESKAPE** 微生物などと、これらの分離したコロニーを同じプレート内で培養することによって、抗生物質をもつ分離株を調べる実験を行った。まだ結果は出てないが、次回の実験でどのようなになっているかが非常に楽しみである。



Fig2. 土壌から分離した菌

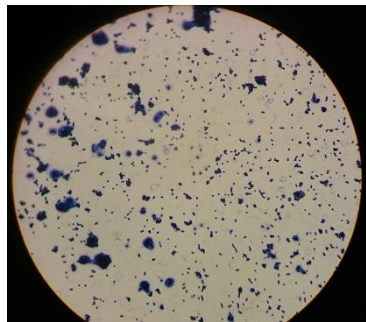


Fig3. グラム染色

## 22. CHEM331: Biochemistry II

先のBiochemistry Iに引き続き、解糖系路と各アミノ酸経路の代謝経路について、光合成について、高分子レベルで学んでいる。この授業では、受講人数が10人程ととても少なく、皆積極的に質問したり、先生の質問に答えている姿が印象的である。

## 23. GS384: Japanese Society

この授業では、現代の日本における制度や教育など、週ごとに様々な日本の社会について焦点を当て、授業を行っている。これまでに、戸籍制度、家族、労働、教育といったことを学んできた。日本にいただけでは、決して気づかない風習や制度、今まで自分が当たり前だと思っていたことが、実は日本独特であることに気づける良い機会となっている。またこの授業では、週に1回のディスカッションがある。その予習として、新聞記事や大量のリーディングの課題がある。しかしながら、どの課題も、日本の特徴や文化、また社会問題やについて改めて考えさせられるものがあり、とても面白い。来月には、授業内で「よく知る日本人について」というテーマで5分間のプレゼンを行うのでしっかりと備えていきたい。

## 24. ESL111: Listening & Speaking

前学期に引き続きこの科目では、Listening と Speaking に焦点を当てて授業を行っている。前学期と比較すると、リスニングのスピードにも比較的慣れ、ノートをとるスピードも徐々にについていけるようになった。今月は、ペアになりテーマを決め8分間のインタビューを行うという課題があった。私たちのテーマは「高校時代の思い出」ということで比較的話しやすい内容でもあった。事前に、相手と打ち合わせを何回か行っていたため、Follow up questions や話の流れをうまく持っていくことができ、自分なりに良い出来であった。またクリスマス前の授業では、代表的な「クリスマスの香り」について学んだ。それぞれの家庭によって様々ではあるが、シナモン、ナツメグ、アップル、バニラ、ミント、モミの木などといった香りが挙げられた。またこれらの香りを目隠しをして当てるというゲームを行った。

## 3. イベント

### 3.1. Global holiday celebration

クリスマス前に行われたこのイベントでは、世界中の料理を食べながら、クリスマスを含め世界中の休日を味わおう！という趣旨のイベントである。一つのテーブルに、初めて会う学生や教師、その家族と食事をしながら、それぞれが持つ背景を超え、大学のこと、日本のこと、そして世界のことについて話すことができたのは、とてもよい経験であった。



Fig4. Global holiday celebrationの様子

### 3.2 Christmas Holiday

12月下旬から1月上旬の約2週間の休みがあった。前半には、ニューヨークとボストンを訪れた。ニューヨークでは、**Bryant Park** のウィンターマーケットや、ロックフェラーセンターのクリスマスツリーなどの名所を回ることができた。また近くにあるセントパトリック大聖堂で行われたクリスマスミサにも参加することができ、アメリカの文化を感じることができた。ボストンでは、**AirBnB** と言われる民泊サイトを利用し、ハーバード大学やMITを見学したりボストン美術館などに行った。アメリカでも最も古い街の一つであるため、イギリス様式の建築が目立ち、とても歴史を感じる街並みであった。

また、休みの後半には、寮で過ごしながらアメリカの家庭料理を教えてもらったり、大晦日にはルームメイトの親友の家に行き、カードゲームをしたりカウントダウンのテレビを見ながら過ごした。日本では、クリスマスは友達や恋人と過ごし、年末年始は家族と過ごすというのが一般的である。一方で、アメリカではキリスト文化のクリスマスは家族と過ごし、年末は友人たちと過ごすという話が多かった。



Fig5. セントパトリック大聖堂でのミサ



Fig6. 親友たちとのクリスマスクッキーづくり

## 4. 最後に

留学生活も残すところ1か月となった。今学期は、1教科クラスを多くとったため課題や発表に追われ、友達と遊んだりクラブに参加することができなかった。休暇を挟み、いろいろと気持ちをリセットすることができたので、残りの留学生生活を少しでも充実して過ごせるように努めていきたい。以上で12月の報告書とする。